

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和四年五月一日 発行

文責：大西
編集：白川

『輝き隊通信バックナンバー』と検索
または下のQRコードからこの通信
のバックナンバーを見ることができ
ます。また観音寺市のホームページ
からも輝き隊通信は閲覧できます。

https://kagayakitai.
amebaownd.com/
https://kagayakitai.
amebaownd.com/

【琴弾公園ヒストリー ⑳】

《小沢圭次郎 その2》 琴弾公園を設計したとされる小沢圭次郎は天保一三年（一八四二年）江戸築地の桑名藩下屋敷で生まれました。ここは松平定信が幕府から拝領した屋敷で、そこには浴恩園（よくおんえん）という名園がありました。圭次郎は桑名藩医師・小沢長安の二男であり、江戸で漢学・医学・蘭学を学び二一歳の時に長崎に遊学して後に大坂の緒方



洪庵の塾で英語を学びました。一時は家業の医師を志しましたが上京し海軍兵学校教官を務めた後、文部省、東京師範学校に勤めました。以来ひたすら日本造園史の研究に励み晩年まで園林叢書を編纂し続けました。その間幾多の名士の庭づくりを手がけ伊勢神宮内苑・外苑、ロンドンの日英博覧会の庭園設計など各地で業績を残しました。四回結婚していますが子どもは娘が一人で、その娘も若くして亡くしています。昭和七年に、九一歳で人生を全うしました。

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は **5月2日** です。
午前八時～九時（雨天：5月9日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。
※問い合わせ080-3211-1962

【琴弾公園クイズ ㉓】

琴弾公園内で飼育されている鳥は
つぎのどれ？

- ① キジ
- ② フラミンゴ
- ③ クジャク



寛談 雑永

《高燈籠の話》 県立琴弾公園高燈籠前の木々が令和4年3月24日に伐採され、山上から財田川や市街地の西半分が見えるようになった。三架橋まで見えるように東半分の木々の伐採もまた県にお願いしたい。明治34年の『錦絵讃岐名所』の琴弾公園の錦絵では三架橋から山上の木製の高燈籠が見えている。現在の高燈籠は昭和28年に元飯屋町旧タンポにあったもので御影石造り、高さ6・5mの石燈籠である。港が新しく西にでき、旧港は埋め立てられ灯台の役目をしていた高燈籠は役目を終えていたが、地元漁民の総意で琴弾八幡宮に献灯された。それ以前の高燈籠については昭和5年『観音寺鳥瞰図絵』、昭和11年の『讃岐観音寺図絵』に描かれている。昭和11年に描かれた図絵では、山上には木製の、港には現在奉納されている石造りの高燈籠が描かれている。高燈籠の歴史を調べて行くと観音寺の歴史に繋がりが面白い。琴弾八幡宮にお参りした時は高燈籠からの眺望もお楽しみ下さい。☺



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆ 私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さなボランティア団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと呼びかけています。